



TITLE:

京都大学卒業者の「生き方」意識

AUTHOR(S):

梶田, 勲一

---

CITATION:

梶田, 勲一. 京都大学卒業者の「生き方」意識. 京都大学高等教育研究  
1997, 3: 86-97

ISSUE DATE:

1997-10-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/53524>

RIGHT:

## 京都大学卒業生の「生き方」意識

梶 田 叡 一（高等教育教授システム開発センター）

生き方に関する意識は、人によって皆異なる。一人ひとりを見ていけば、人生に対する多種多様な姿勢や態度が存在している。しかもそれは、その人の生きている文化や時代によって、大きく枠付けられている。

こうした生き方の意識を把握するには、一人ひとりについて入念な面接調査（深層面接を含む）を実施し、またそれに関連させる形で、一人ひとりの個人史を入念に調査してやる必要がある。しかし、概略的な点についてなら、質問紙（インベントリー）の形で把握が可能であり、構造的な検討や各種条件ごとの比較検討などの場合には、質問紙調査の方が適している。このため、生き方意識に関するさまざまな質問紙調査がこれまで実施されている。

梶田（1990）は「生き方意識インベントリー」と名づけられた質問紙を作成し、これを用いた調査を行ってきた。また同じ質問紙を用いて他の研究者も調査を実施している。ここでは、1996年度に実施した京都大学卒業生調査（1997）において得られた資料について報告しておきたい。

### 【生き方意識インベントリーの構成】

生き方について、そのすべての領域を取り上げて意識調査をすることなど、本来不可能である。「生き方意識インベントリー」においては、特に筆者が関心を持つ「自己の存在意義・自己受容」「脱自己中心性」「自己の可能性・目的」「努力への意志・向上心」「ニヒリズム」という5つの領域を取り上げ、そこでの意識の概要を見ようとする。これらはいずれも、実存的なレベルにおける生き方意識に関わるものである。各領域を構成する項目群の具体的な内容については、表1を参照していただきたい。

表1 生き方意識インベントリーの構成

#### [A 自己の存在意義や自己受容に関わる感覚・意識]

1. わたしは、いろいろ不満なところ反省すべきところがないわけではないが、基本的には今のままの自分でいい、と思っています。
6. わたしは、細かいことでは今までいろいろあったにせよ、基本的には、良い機会や条件に恵まれてきた幸せな人間だ、と思っています。
11. わたしは、この世に一人の人間として生れてきたことを有難く思い、感謝の気持ちに満たされることがあります。
16. わたしは、毎日の生活が、どうしてこんなに変わりばえも新鮮さもない灰色のつまらないものなんだろう、と嫌になることがあります。（\*）
21. わたしは、周囲の人たちに支えていただいているからこそ、こんなふうに住んでいけるのだ、と思うことがあります。
26. わたしは、大自然の力（あるいは神様、仏様、など）によって支えられ生かされているのだから、つまらぬことで一喜一憂しないで、安心しておまかせしておけばよい、と思っています。

#### [B 脱自己中心性に関わる感覚・意識]

2. わたしは、自分のことを、いつでも自分勝手なことばかり考える何て自己本位の人間だろう、と思うことがあります。（\*?）
7. わたしは、人間はだれも、結局のところは自分のことしか考えようとしない利己的な存在だ、という気がします。（\*?）
12. わたしは、自分の意見に反対されたり、自分の考えと違う主張をぶつけられたりすると、我慢できなくて、感

情的になってしまいます。（\*?）

17. わたしは、自分自身のことは考えに入れないで計画したり行動したりしないと、結局はうまくいかないものだ、という気がします。
22. わたしは、できることなら、義理や体面など一切考えないで、自分が木や石になったつもりでやっていきたい、と思っています。
27. わたしは、結局は「自分」などというものはない、幻影のような「自分」にこだわるのはくだらないことだ、という気がしています。

[C 自分の可能性や目的に関わる感覚・意識]

3. わたしは、自分自身の人生において、どうしてもやり遂げなくてはならない自分なりの仕事なり使命なりがある、という気がしています。
8. わたしは、自分自身の将来には大きな可能性が潜んでおり、そのうちに思いがけないチャンスに恵まれて、それが現実のものになるだろう、という気がしています。
13. わたしは、今までと違う新しいことに、いつでもチャレンジし、自分の可能性を広げていきたい、と思っています。
18. わたしは、どんなにささやかなことでもいいから、他の人の役に立つことを見つけ、責任を持ってやっていかなくては、と考えています。
23. わたしは、この人をお手本に生きていきたいと思う人（今の人も昔の人も、また日本人でも他の国の人もよい）を持っています。
28. わたしは、自分にはとても真似できないが、人間として非常に優れた素晴らしい人（今の人も昔の人も、また日本人でも他の国の人もよい）を知っており、尊敬の気持ちを持っています。

[D 努力への意志や向上心に関わる感覚・意識]

4. わたしは、何とかして自分の大きな可能性を見つけ、その実現に向かっての努力をし、大きく花を咲かせなくては、と考えています。
9. わたしは、その時その場で自分なりに精一杯の努力をしていけば、最後には必ず大きな成果が得られるに違いない、と考えています。
14. わたしは、世間的な意味で成功するかどうかより、その時その場で精一杯頑張ったかどうかの方がずっと大事だ、と考えています。
19. わたしは、どんなに小さいことでもいいから、これは自分がやったことだ、と言えるものを持ちたい、と思っています。
24. わたしは、あまり無理をしないで、自分自身と上手につきあいながら、マイペースで少しずつやっていくしかない、と考えています。（\*?）
29. わたしは、自分がどんなに頑張っても努力をしていったとしても、結局のところ、結果にそう大きな違いはないだろう、と思っています。（\*）

[E ニヒリズムに関わる感覚・意識]

5. わたしは、人間だれもいつかは死んでしまうのだから、頑張って努力しても結局は無駄だ、という気がしています。
10. わたしは、頑張って節約して財産ができたとしても、結局は元気な間しかそれを使って楽しめないのだから、あまり先のことばかり考えないで、楽しめるときに精一杯楽しんでおかなくては損だ、と思います。
15. わたしは、世間の人はすぐにキレイゴトを言いたがるけれど、結局はだれもが、お金と名誉と快楽を求めているだけだ、と思います。
20. わたしは、人生は偶然の積み重ねであって、努力した善人が泣きをみたり、自分勝手な悪人が幸せになっても

不思議ではない、と思っています。

25. わたしは、自分が存在し生きていることには、全く何の目的も意味もない、という気がしています。

30. わたしは、自分自身に遅かれ早かれ訪れる「死」に対して、心の準備が一応出来ており、そう恐ろしいとは思っていません。（＊）

### 【どのような生き方が選択されているか】

自分自身の生き方について考えてみる時期はいろいろある。しかし、これまでの各種調査では、調査がしやすいという理由からであろうが、高校生ないし大学生を対象としたものがほとんどと言ってよい。青年期にある若者の意識を探ることも確かに重要であるが、ここでは既に成人し、社会のただ中で毎日を頑張っている人について、その意識のあり方を探っている。ここに報告する資料が重要な意味と持つとしたら、まず第一にこの点を挙げることができるであろう。

1996年に実施された京都大学卒業生調査においては、京都大学の卒業生に対して大学在学中に受けた教育に関する感想や意見を求め、合わせて「生き方意識インベントリー」を用いて現在の人生観について尋ねている。

対象となった卒業生は、文学部、法学部、医学部、工学部を、2年前卒業（93年度／94年3月卒）、12年前卒業（83年度／84年3月卒）、22年前卒業（73年度／74年3月卒）、32年前卒業（63年度／64年3月卒）、42年前卒業（53年度／54年3月卒）の方々である。32年前卒業の「60年安保」世代、22年前卒業の「大学紛争」世代を挟んで、その前後の新制大学スタート段階の卒業生から、最近の大学教育大衆化によって「新新制大学」という言い方がなされる段階までの卒業生がここには含まれている。1996年6月に、総計3700人の方に質問紙が郵送され、約40%の方から回答が寄せられ、整理された。

表2に示されているのが、全体の概略である。若い世代において「はい」の回答率が大きい項目から順に並べられている。一般に、ニヒリズム的な感覚が少なく、努力による向上への信頼感が色濃く見られるといっているのではないだろうか。ただ「4. 自分の持つ大きな可能性を実現したい」「8. 自分には大きなチャンスが待っている」という気持ちが、年齢が高くなるにつれて（卒業年次が古くなるにつれて）少なくなっていくのは、当然のこととはいえず、寂しい感じがしないわけでない。その代わりに、「1. 今のままの自分でいい」「14. 成功よりその時々々の頑張りが大事」「26. 大きな力にお任せして生きる」「11. 人間として生まれたことに感謝」といったゆとりある人生態度が年齢と共に増大していくことは、力強く思える点である。

表3～表7に、卒業学部による違いが年次ごとに示されている。学部間の相違は卒業年次ごとに特異な点が多く、どの年次も通じて一貫して「いかにも〇学部卒業生らしい」といった人生観のあり方は見られない。もう少し詳しく見るために、いくつかの項目を選んで、学部と卒業年次をクロスした形で人生態度の相違が示されている（表8-1～表8-5）。じっくり見てみるといくつか興味深い点が見られるであろう。

最後に、京大卒業生の人生観がどこまで特異なものであるか（言い換えるならどこまで一般的なものであるか）を見るため、1988年に大阪と松本の国立大学附属小学校の児童の父親（30歳代～50歳代）に対して調査した結果と比較したものが表9に示されている。京大卒業生の方が低く出ている項目がいくつか見られる。例えば、「3. 自分のやるべき仕事・使命が必ずある」「4. 自分の大きな可能性を実現させたい」「8. 自分には大きなチャンスが待っている」「9. その場での努力が大きな成果に」「14. 成功よりその時々々の頑張りが大事」といった達成動機に関わる点で、京大卒業生の「はい」回答が低い。心理的なゆとりの表れと見るべきなのか、それともやはり夢や意欲の薄さ、なのであるか。ただ「16. 誰も結局は金と快楽と名誉だ」「29. 頑張っても結果に変わりはない」といったニヒリズムの気持ちが薄いのは、京大らしいロマンチズムの健在さをうかがわせる感もある。

### 【参考文献】

梶田叡一『生き方の心理学』有斐閣、1988年。

梶田叡一・溝上慎一・浅田匡『京都大学卒業生の意識調査——京都大学で受けた教育の評価と人生観』京都大学高等教育教授システム開発センター刊、1997年。

表2 京都大学卒業生の「生き方意識」(数字は「はい」の回答%)

卒業年(3月卒) 年齢 n	京大卒業生(男性)					京大卒業生(女性)		
	94 24+	84 34+	74 44+	64 54+	54 64+	94 24+	87 34+	74 44+
	157	272	304	272	346	74	29	18
19. 自分の業績と言えるものを	85.3	84.9	81.9	82.4	87.5	79.7	82.8	88.9
6. 機会・条件に恵まれ私は幸せ	79.5	83.1	82.9	73.3	80.1	83.8	72.4	88.9
21. 周囲の人の支えでこの生活が	76.4	78.2	78.5	74.6	87.0	74.3	82.8	77.8
13. いつも何かへのチャレンジを	68.8	61.4	58.6	63.2	55.7	45.9	55.2	72.2
4. 大きな可能性を実現させたい	64.3	57.0	46.7	34.3	31.1	59.5	44.8	38.9
24. 無理をせずマイペースで	63.1	57.4	55.3	49.1	50.7	73.0	82.8	77.8
28. 優れた尊敬すべき人を持つ	60.5	57.0	53.6	58.1	67.5	64.9	51.7	77.8
9. その場の努力が大きな成果に	52.9	51.5	46.4	54.8	56.2	54.1	41.4	61.1
18. 他人に役立つことをやりたい	52.2	51.8	47.4	51.5	62.9	47.3	62.1	83.3
1. 今のままの自分でいい	50.3	55.7	64.7	69.0	78.6	51.4	48.3	72.2
20. 善人が泣きを見ることもある	47.8	40.8	34.2	32.5	26.7	40.5	51.7	44.4
11. 人間として生れたことに感謝	44.6	48.5	51.2	56.6	72.0	41.9	65.5	77.8
8. 大きなチャンスが待っている	43.9	31.3	19.1	15.8	12.8	23.0	6.9	27.8
3. やるべき仕事・使命が必ず	43.3	50.0	42.8	45.2	51.6	50.0	41.4	38.9
14. 成功よりその時々頑張りを	43.3	39.3	58.2	58.2	77.5	43.2	51.7	72.2
23. 生き方の手本となる人が居る	40.1	39.3	38.8	30.6	48.1	48.6	41.4	38.9
2. 自分を自己本位と思うことも	33.1	20.2	12.2	12.5	13.9	35.1	27.6	11.1
10. 今楽しんでおこななくては損	29.3	23.2	15.8	18.0	18.5	28.4	34.5	11.1
16. 毎日の生活が灰色で嫌だ	24.2	19.1	8.6	7.4	4.3	17.6	17.2	22.2
22. 自分を木石と見てやっていく	20.4	17.6	17.2	12.2	12.5	21.6	24.1	22.2
7. 人間は誰も利己的な存在	19.1	12.9	13.2	12.2	15.6	23.0	10.3	16.7
30. 自分の死に対し心の準備あり	18.5	18.0	19.5	27.6	34.9	18.9	13.8	33.3
12. 反対されると我慢できない	12.7	12.9	12.5	11.8	7.5	20.3	10.3	16.7
17. 自分を考えに入れると駄目	12.2	11.9	11.3	20.4	23.1	8.1	3.4	5.6
15. 誰も結局は金と快楽と名誉だ	11.5	6.3	10.2	8.1	14.5	10.8	3.4	0.0
26. 大きな力にお任せして生きる	6.4	11.8	13.8	19.6	27.2	9.5	10.3	22.2
25. 自分の存在は無目的で無意味	5.7	2.6	2.6	1.8	1.7	6.8	6.9	0.0
27. 自分という幻影に拘泥せず	4.5	5.5	3.9	4.8	5.8	4.1	0.0	11.1
29. 頑張っても結果に変わりはない	4.5	4.8	8.9	6.7	11.9	4.1	6.9	5.6
5. 結局死ぬのだから努力は無駄	3.8	2.6	2.0	0.7	2.6	2.7	3.4	0.0

表3 94年3月卒業者の学部別「はい」回答率(%)

学部 n	男 性				女 性	
	文 学 32	法 学 50	医 学 15	工 学 57	文 学 31	法 学 37
1. 今のままの自分でいい	46.8	50.0	53.3	50.9	38.7	64.9
2. 自分を自己本位と思うことも	31.3	36.0	20.0	33.3	41.9	27.0
3. やるべき仕事・使命が必ず	50.0	30.0	53.3	49.1	35.5	56.8
4. 大きな可能性を実現させたい	65.6	56.0	60.0	71.9	61.3	54.1
5. 結局死ぬのだから努力は無駄	6.3	2.0	6.7	3.5	6.5	0.0
6. 機会・条件に恵まれ私は幸せ	80.6	74.0	86.7	80.7	87.1	81.1
7. 人間は誰も利己的な存在	25.0	10.0	26.7	21.1	19.4	24.3
8. 大きなチャンスが待っている	50.0	34.0	33.3	50.9	9.7	32.4
9. その場の努力が大きな成果に	50.0	48.0	46.7	59.6	51.6	62.2
10. 今楽しんでおかなくては損	15.6	30.0	33.3	35.1	22.6	29.7
11. 人間として生れたことに感謝	31.4	52.0	40.0	45.6	35.5	48.6
12. 反対されると我慢できない	15.6	12.0	6.7	12.3	16.1	18.9
13. いつも何かへのチャレンジを	68.8	64.0	53.3	77.2	48.4	40.5
14. 成功よりその時々頑張りを	34.4	48.0	33.3	45.6	48.4	43.2
15. 誰も結局は金と快楽と名誉だ	12.5	10.0	13.3	12.3	12.9	8.1
16. 毎日の生活が灰色で嫌だ	21.9	30.0	13.3	24.6	12.9	21.6
17. 自分を考えに入れると駄目	3.1	10.0	6.7	21.1	6.5	8.1
18. 他人に役立つことをやりたい	59.4	44.0	46.7	54.4	41.9	51.4
19. 自分の業績と言えるものを	90.6	72.0	78.6	94.7	87.1	70.3
20. 善人が泣きを見ることもある	50.0	38.0	60.0	52.6	29.0	43.2
21. 周囲の人の支えでこの生活が	75.0	82.0	73.3	71.9	71.0	78.4
22. 自分を木石と見てやっていく	12.5	30.0	6.7	21.1	35.5	10.8
23. 生き方の手本となる人が居る	28.1	50.0	13.3	47.4	51.6	43.2
24. 無理をせずマイペースで	62.5	60.0	73.3	63.2	74.2	75.7
25. 自分の存在は無目的で無意味	6.3	10.0	13.3	0.0	6.5	5.4
26. 大きな力にお任せして生きる	15.6	4.0	0.0	5.3	16.1	2.7
27. 自分という幻影に拘泥せず	12.5	4.0	0.0	1.8	6.5	2.7
28. 優れた尊敬すべき人を持つ	62.5	58.0	60.0	61.4	67.7	62.2
29. 頑張っても結果に変わりはない	9.4	4.0	0.0	3.5	3.2	2.7
30. 自分の死に対し心の準備あり	31.3	22.0	6.7	12.3	22.6	16.2

表4 84年3月卒業者の学部別「はい」回答率(%)

学部 n	男 性				女性
	文 学 41	法 学 73	医 学 32	工 学 126	文 学 20
1. 今のままの自分でいい	56.1	63.9	50.0	52.4	40.0
2. 自分を自己本位と思うことも	24.4	19.2	21.9	19.0	35.0
3. やるべき仕事・使命が必ず	65.9	28.8	50.0	57.1	40.0
4. 大きな可能性を実現させたい	65.9	41.1	53.1	64.3	45.0
5. 結局死ぬのだから努力は無駄	4.9	1.4	3.1	2.4	5.0
6. 機会・条件に恵まれ私は幸せ	73.2	86.3	84.4	84.1	65.0
7. 人間は誰も利己的な存在	17.1	9.6	21.9	11.1	10.0
8. 大きなチャンスが待っている	29.3	26.0	37.5	33.3	5.0
9. その場の努力が大きな成果に	51.2	53.4	31.3	55.6	40.0
10. 今楽しんでおかななくては損	19.5	24.7	21.9	23.8	40.0
11. 人間として生れたことに感謝	43.9	46.6	62.5	47.6	65.0
12. 反対されると我慢できない	7.3	13.7	9.4	15.1	10.0
13. いつも何かへのチャレンジを	58.5	56.2	50.0	68.3	50.0
14. 成功よりその時々の頑張りを	53.6	40.3	41.9	33.3	45.0
15. 誰も結局は金と快楽と名誉だ	2.4	6.8	6.3	7.1	5.0
16. 毎日の生活が灰色で嫌だ	4.9	21.9	28.1	19.8	20.0
17. 自分を考えに入れると駄目	10.0	12.7	15.6	11.1	0.0
18. 他人に役立つことをやりたい	53.7	46.6	59.4	52.4	60.0
19. 自分の業績と言えるものを	80.5	83.6	84.4	87.3	85.0
20. 善人が泣きを見ることもある	41.5	35.6	43.8	42.9	55.0
21. 周囲の人の支えでこの生活が	72.5	75.3	84.4	80.2	75.0
22. 自分を木石と見てやっていく	14.6	13.7	21.9	19.8	30.0
23. 生き方の手本となる人が居る	48.8	32.9	50.0	37.3	35.0
24. 無理をせずマイペースで	61.0	57.5	62.5	54.8	95.0
25. 自分の存在は無目的で無意味	4.9	1.4	0.0	3.2	10.0
26. 大きな力にお任せして生きる	29.3	5.5	12.5	9.5	10.0
27. 自分という幻影に拘泥せず	17.1	1.4	6.3	4.0	0.0
28. 優れた尊敬すべき人を持つ	63.4	53.4	62.5	55.6	50.0
29. 頑張っても結果に変わりはない	4.9	5.5	3.1	4.8	10.0
30. 自分の死に対し心の準備あり	31.7	16.4	15.6	15.1	20.0

表5 74年3月卒業者の学部別「はい」回答率(%)

学部 n	男 性			
	文 学 31	法 学 77	医 学 35	工 学 158
1. 今のままの自分でいい	71.0	67.5	71.4	61.4
2. 自分を自己本位と思うことも	6.5	10.4	11.4	14.5
3. やるべき仕事・使命が必ず	48.4	44.2	57.1	37.1
4. 大きな可能性を実現させたい	32.3	40.3	28.6	56.0
5. 結局死ぬのだから努力は無駄	3.2	1.3	2.9	1.9
6. 機会・条件に恵まれ私は幸せ	77.4	87.0	82.9	81.8
7. 人間は誰も利己的な存在	3.2	10.4	14.3	15.7
8. 大きなチャンスが待っている	16.1	16.9	20.0	20.1
9. その場の努力が大きな成果に	32.3	45.5	34.3	51.6
10. 今楽しんでおこななくては損	12.9	18.2	17.1	15.1
11. 人間として生れたことに感謝	45.2	64.5	45.7	47.2
12. 反対されると我慢できない	9.7	9.1	8.6	15.1
13. いつも何かへのチャレンジを	61.3	48.1	57.1	63.5
14. 成功よりその時々頑張りを	71.0	54.5	65.7	56.0
15. 誰も結局は金と快楽と名誉だ	3.2	6.5	14.3	11.9
16. 毎日の生活が灰色で嫌だ	9.7	5.2	8.6	10.1
17. 自分を考えに入れると駄目	12.9	14.5	8.6	10.1
18. 他人に役立つことをやりたい	48.4	51.9	62.9	42.1
19. 自分の業績と言えるものを	77.4	80.5	80.0	83.6
20. 善人が泣きを見ることもある	29.0	31.2	42.9	34.6
21. 周囲の人の支えでこの生活が	71.0	76.6	91.4	77.8
22. 自分を木石と見てやっていく	26.7	13.0	22.9	16.4
23. 生き方の手本となる人が居る	38.7	42.9	45.7	35.8
24. 無理をせずマイペースで	64.5	46.8	68.6	55.3
25. 自分の存在は無目的で無意味	3.2	2.6	2.9	2.5
26. 大きな力にお任せして生きる	12.9	13.0	14.3	14.5
27. 自分という幻影に拘泥せず	3.2	0.0	5.7	5.7
28. 優れた尊敬すべき人を持つ	67.7	57.1	51.4	50.3
29. 頑張っても結果に変わりはない	9.7	6.5	11.4	9.4
30. 自分の死に対し心の準備あり	16.1	16.9	34.3	18.2



表6 64年3月卒業者の学部別「はい」回答率(%)

学部 n	男 性			
	文 学 33	法 学 69	医 学 35	工 学 133
1. 今のままの自分でいい	75.8	73.5	68.6	65.4
2. 自分を自己本位と思うことも	9.1	14.5	14.7	12.0
3. やるべき仕事・使命が必ず	60.6	46.4	51.4	39.1
4. 大きな可能性を実現させたい	36.4	34.8	41.2	31.6
5. 結局死ぬのだから努力は無駄	0.0	1.4	2.9	0.0
6. 機会・条件に恵まれ私は幸せ	63.6	76.8	80.0	71.6
7. 人間は誰も利己的な存在	15.6	4.3	14.3	14.3
8. 大きなチャンスが待っている	18.2	15.9	20.0	13.5
9. その場の努力が大きな成果に	42.4	53.6	54.3	58.6
10. 今楽しんでおかななくては損	27.3	15.9	22.9	15.8
11. 人間として生れたことに感謝	66.7	62.3	51.4	52.6
12. 反対されると我慢できない	18.2	10.1	8.6	11.3
13. いつも何かへのチャレンジを	57.6	59.4	62.9	67.7
14. 成功よりその時々への頑張りを	51.5	49.3	80.0	59.0
15. 誰も結局は金と快楽と名誉だ	9.1	5.8	11.4	8.3
16. 毎日の生活が灰色で嫌だ	18.2	4.3	11.4	5.3
17. 自分を考えに入れると駄目	30.3	13.0	25.7	20.6
18. 他人に役立つことをやりたい	42.4	56.5	62.9	48.1
19. 自分の業績と言えるものを	78.8	89.9	85.7	78.2
20. 善人が泣きを見ることもある	48.5	20.3	31.4	35.6
21. 周囲の人の支えでこの生活が	66.7	75.4	85.7	73.7
22. 自分を木石と見てやっていく	12.1	8.7	20.0	11.4
23. 生き方の手本となる人が居る	36.4	30.4	42.9	26.5
24. 無理をせずマイペースで	72.7	44.1	45.7	45.9
25. 自分の存在は無目的で無意味	3.0	0.0	5.7	1.5
26. 大きな力にお任せして生きる	27.3	18.8	22.9	16.7
27. 自分という幻影に拘泥せず	9.1	2.9	5.7	4.5
28. 優れた尊敬すべき人を持つ	57.6	60.1	68.6	54.1
29. 頑張っても結果に変わりはない	12.1	5.9	11.4	4.5
30. 自分の死に対し心の準備あり	30.3	23.2	45.7	23.3

表7 54年3月卒業者の学部別「はい」回答率(%)

学部 n	男 性			
	文 学 53	法 学 137	医 学 42	工 学 113
1. 今のままの自分でいい	73.6	77.4	81.0	81.4
2. 自分を自己本位と思うことも	15.1	14.6	11.9	13.3
3. やるべき仕事・使命が必ず	60.4	46.0	56.1	53.1
4. 大きな可能性を実現させたい	28.3	32.6	16.7	36.3
5. 結局死ぬのだから努力は無駄	1.9	2.2	4.8	2.7
6. 機会・条件に恵まれ私は幸せ	79.2	72.1	88.1	86.8
7. 人間は誰も利己的な存在	11.3	16.1	19.0	15.9
8. 大きなチャンスが待っている	15.4	8.1	9.8	18.6
9. その場の努力が大きな成果に	50.9	54.4	47.6	64.6
10. 今楽しんでおかなくては損	15.1	20.4	16.7	18.6
11. 人間として生れたことに感謝	60.4	75.2	69.0	74.3
12. 反対されると我慢できない	1.9	10.2	7.1	7.1
13. いつも何かへのチャレンジを	47.2	55.9	40.5	64.6
14. 成功よりその時々頑張りを	75.5	76.6	76.2	79.6
15. 誰も結局は金と快楽と名誉だ	7.5	13.9	21.4	15.0
16. 毎日の生活が灰色で嫌だ	7.5	3.6	7.1	2.7
17. 自分を考えに入れると駄目	15.4	24.6	35.7	20.4
18. 他人に役立つことをやりたい	56.6	60.3	81.0	61.9
19. 自分の業績と言えるものを	90.6	86.8	85.7	87.6
20. 善人が泣きを見ることもある	17.0	27.2	33.3	27.4
21. 周囲の人の支えでこの生活が	73.6	84.6	97.6	92.0
22. 自分を木石と見てやっていく	15.1	12.5	21.4	8.0
23. 生き方の手本となる人が居る	45.3	52.9	45.2	44.2
24. 無理をせずマイペースで	45.3	58.1	61.9	39.8
25. 自分の存在は無目的で無意味	1.9	0.7	2.4	2.7
26. 大きな力にお任せして生きる	30.2	25.0	35.7	24.8
27. 自分という幻影に拘泥せず	3.8	4.4	11.9	6.2
28. 優れた尊敬すべき人を持つ	66.0	65.4	76.2	67.3
29. 頑張っても結果に変わりはない	13.2	13.2	16.7	8.0
30. 自分の死に対し心の準備あり	44.2	33.1	38.1	31.0

表8-1 〈1. 今のままの自分でいい〉

	男 性					女 性		
	文 学	法 学	医 学	工 学	全 体	文 学	法 学	全 体
54年卒	73.6	77.4	81.0	81.4	78.6	—	—	—
64年卒	75.8	73.5	68.6	65.4	69.0	—	—	—
74年卒	71.0	67.5	71.4	61.4	64.7	—	—	72.2
84年卒	56.1	63.9	50.0	52.4	55.7	40.0	—	48.3
94年卒	46.8	50.0	53.3	50.9	50.3	38.7	64.9	51.4

表8-2 〈6. 機会・条件に恵まれ私は幸せ〉

	男 性					女 性		
	文 学	法 学	医 学	工 学	全 体	文 学	法 学	全 体
54年卒	79.2	72.1	88.1	86.8	80.1	—	—	—
64年卒	63.6	76.8	80.0	71.6	73.3	—	—	—
74年卒	77.4	87.0	82.9	81.8	82.9	—	—	88.9
84年卒	73.2	86.3	84.4	84.1	83.1	65.0	—	72.4
94年卒	80.6	74.0	86.7	80.7	79.5	87.1	81.1	83.8

表8-3 〈11. 人間として生れたことに感謝〉

	男 性					女 性		
	文 学	法 学	医 学	工 学	全 体	文 学	法 学	全 体
54年卒	60.4	75.2	69.0	74.3	72.0	—	—	—
64年卒	66.7	62.3	51.4	52.6	56.6	—	—	—
74年卒	45.2	64.5	45.7	47.2	51.2	—	—	77.8
84年卒	43.9	46.6	62.5	47.6	48.5	65.0	—	65.5
94年卒	31.4	52.0	40.0	45.6	44.6	35.5	48.6	41.9

表8-4 〈16. 毎日の生活が灰色で嫌だ〉

	男 性					女 性		
	文 学	法 学	医 学	工 学	全 体	文 学	法 学	全 体
54年卒	7.5	3.6	7.1	2.7	4.3	—	—	—
64年卒	18.2	4.3	11.4	5.3	7.4	—	—	—
74年卒	9.7	5.2	8.6	10.1	8.6	—	—	22.2
84年卒	4.9	21.9	28.1	19.8	19.1	20.0	—	17.2
94年卒	21.9	30.0	13.3	24.6	24.2	12.9	21.6	17.6

表8-5 〈30. 自分の死に対し心の準備あり〉

	男 性					女 性		
	文 学	法 学	医 学	工 学	全 体	文 学	法 学	全 体
54年卒	44.2	33.1	38.1	31.0	34.9	—	—	—
64年卒	30.3	23.2	45.7	23.3	27.6	—	—	—
74年卒	16.1	16.9	34.3	18.2	19.5	—	—	33.3
84年卒	31.7	16.4	15.6	15.1	18.0	20.0	—	13.8
94年卒	31.3	22.0	6.7	12.3	18.5	22.6	16.2	18.9

表8 京都大学卒業者の人生観の特色（中年男性の比較）

卒業年（3月卒） 年齢 n	1996年調査京大卒業者			1988年調査附小保護者	
	84 34+ 272	74 44+ 304	64 54+ 272	大阪 167	松本 78
1. 今のままの自分でいい	55.7	64.7	69.0	70.7	66.7
2. 自分を自己本位と思うことも	20.2	12.2	12.5	27.5	25.6
3. やるべき仕事・使命が必ず	50.0	42.8	45.2	74.3	67.9
4. 大きな可能性を実現させたい	57.0	46.7	34.3	68.9	64.1
5. 結局死ぬのだから努力は無駄	2.6	2.0	0.7	4.2	1.3
6. 機会・条件に恵まれ私は幸せ	83.1	82.9	73.3	80.2	75.6
7. 人間は誰も利己的な存在	12.9	13.2	12.2	35.3	32.1
8. 大きなチャンスが待っている	31.3	19.1	15.8	47.3	38.5
9. その場の努力が大きな成果に	51.5	46.4	54.8	84.4	79.5
10. 今楽しんでおかなくては損	23.2	15.8	18.0	31.7	32.1
11. 人間として生れたことに感謝	48.5	51.2	56.6	73.7	60.3
12. 反対されると我慢できない	12.9	12.5	11.8	22.2	25.6
13. いつも何かへのチャレンジを	61.4	58.6	63.2	71.9	73.1
14. 成功よりその時々頑張りを	39.3	58.2	58.2	76.6	85.9
15. 誰も結局は金と快楽と名誉だ	6.3	10.2	8.1	28.1	35.9
16. 毎日の生活が灰色で嫌だ	19.1	8.6	7.4	15.0	19.2
17. 自分を考えに入れると駄目	11.9	11.3	20.4	27.5	26.9
18. 他人に役立つことをやりたい	51.8	47.4	51.5	64.7	66.7
19. 自分の業績と言えるものを	84.9	81.9	82.4	89.8	84.6
20. 善人が泣きを見ることもある	40.8	34.2	32.5	26.9	25.6
21. 周囲の人の支えでこの生活が	78.2	78.5	74.6	89.2	84.6
22. 自分を木石と見てやっていく	17.6	17.2	12.2	32.3	21.8
23. 生き方の手本となる人が居る	39.3	38.8	30.6	47.9	48.7
24. 無理をせずマイペースで	57.4	55.3	49.1	61.7	60.3
25. 自分の存在は無目的で無意味	2.6	2.6	1.8	3.6	3.8
26. 大きな力にお任せして生きる	11.8	13.8	19.6	31.1	12.8
27. 自分という幻影に拘泥せず	5.5	3.9	4.8	8.4	5.1
28. 優れた尊敬すべき人を持つ	57.0	53.6	58.1	61.1	64.1
29. 頑張っても結果に変わりはない	4.8	8.9	6.7	15.0	19.2
30. 自分の死に対し心の準備あり	18.0	19.5	27.6	25.1	30.8